

世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 英国 



【表紙の写真】

(左上) ロンドンのビッグベン

ロンドンのランドマーク、ウエストミンスター宮殿の一角にあるビッグベン。この鐘の音は、多くの日本の学校でチャイムの音として使われています。左下の丸いスタンドは、地下鉄のマーク「UNDERGROUND」です。

(右下) 結婚式に参加した子どもたち

教会の庭でライスシャワーの入ったかごを持って新婚の二人を待っている子どもたち。結婚式では、小さなカップルが新婚の二人のエスコート役としてバージンロードを歩きました。

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜ英国?

第1章 英国ってどんな国?

＝歴史と伝統を重んじ、自然をこよなく愛する国＝

- 05 英国ってどんな国?
- 07 誇り高き「大英帝国」～世界中に“英国”がある!?～
- 09 英国ってすごい! ～多くの「世界初」を生み出した国～
- 11 英国を旅しよう!
- 13 英国、オリジナル!
- 15 こんなに〇〇〇〇!? 英国料理
- 17 ちょっとブレイク

～英国の優雅なティータイム～

第2章 ヘえ～! 英国と日本

- 19 似てる? 似てない? 英国と日本
～伝統ある制度を重んじる2つのファミリー～
- 21 英国紳士・淑女は学校から
～英国の教育制度～
- 23 フォトギャラリー ～これこれ! ロンドン～

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

- 25 自然、物、人にやさしい国
～自然環境保護の国、英国～
- 27 「英国ってこう!」ってホントに言える?
～いろいろな文化が混ざり合ってきた
英国文化 (Multicultural Britain)～
- 29 フォトギャラリー
～イングランドのカントリーサイド夏と冬～

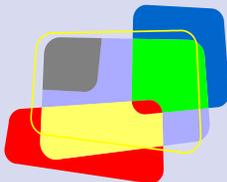
第4章 そして未来へ

- 31 ランキングで考える元気な地球のつくり方

★参考資料★

- 35 目で見る英国
- 37 英国地図
- 39 参考文献・データ等の出典
- 39 ご協力いただいた方たち
- 39 2010年度教材作成チーム

※ 本書では、「イギリス」のことを「英国」と表記しています。英国の正式名称は「グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国」で、これを意味するために「Britain」という用語を通用しています。この対訳を日本の外務省は「英国」としており、本書もそれに準じています。



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい!!つなげていきたい!!
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～。こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起こっていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起こっていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としています。本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえるようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしてください。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、英国のほんの一面です。本書だけで英国のすべてがわかるわけではありません。英国に親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせて、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

●カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一ロコラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムでマジックを使います。



プログラムのねらいです。



プログラムで付箋を使います。



ちょっとブレイク！一ロコラムです。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



データ等の出典です。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



写真の撮影者です。



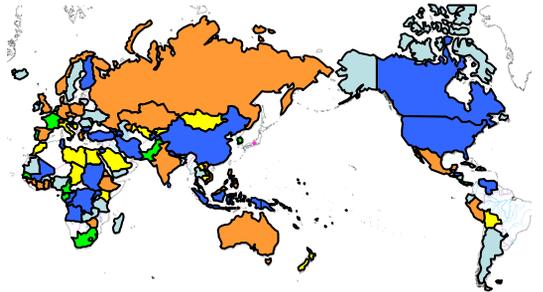
なぜ英国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国防レンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国防レンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国防レンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。そして、**英国**のホームシティは、**豊田市**でした。



愛知万博／イギリス館

- : 2012年教材作成予定の国
- : 2011年教材作成予定の国
- : 2010年教材作成の国
- : 2009年教材作成の国
- : 2008年教材作成の国

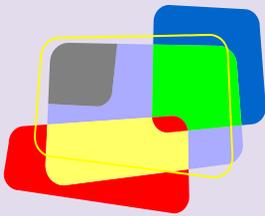
2011年作成 予定国 (31カ国)	アルメニア共和国 インド 英国 エチオピア連邦民主共和国 エリトリア国 オーストラリア連邦 ガーナ共和国 カザフスタン共和国 カタール国 ギニア共和国 ギリシャ共和国 コートジボワール共 和国 ジブチ共和国 ジンバブエ共和国 スイス連邦 スペイン王国 チェコ共和国 ツバル デンマー ク王国 ドイツ連邦共和国 ノルウェー王国 パヌアツ共和国 フィリピン共和国 ブルキナファソ ベト ナム社会主義共和国 ペルー共和国 ポーランド共和国 マレーシア ミクロネシア連邦 メキシコ合衆 国 ロシア
2010年作成 (30カ国)	アゼルバイジャン共和国 アンゴラ共和国 アメリカ合衆国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共 和国 ウガンダ共和国 カナダ グルジア コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン 共和国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジ ア共和国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共 和国 マーシャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシェミット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共 和国
2009年作成 (20カ国)	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア 王国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会 主義人民ジャマール・ヒリーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニュージーランド フィジー諸島共和国 ベ ナン共和国 ベルギー王国 ボリビア多民族国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2008年作成 (10カ国)	オランダ王国 カメルーン共和国 ガボン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共 和国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国



第1章

英国ってどんな国？

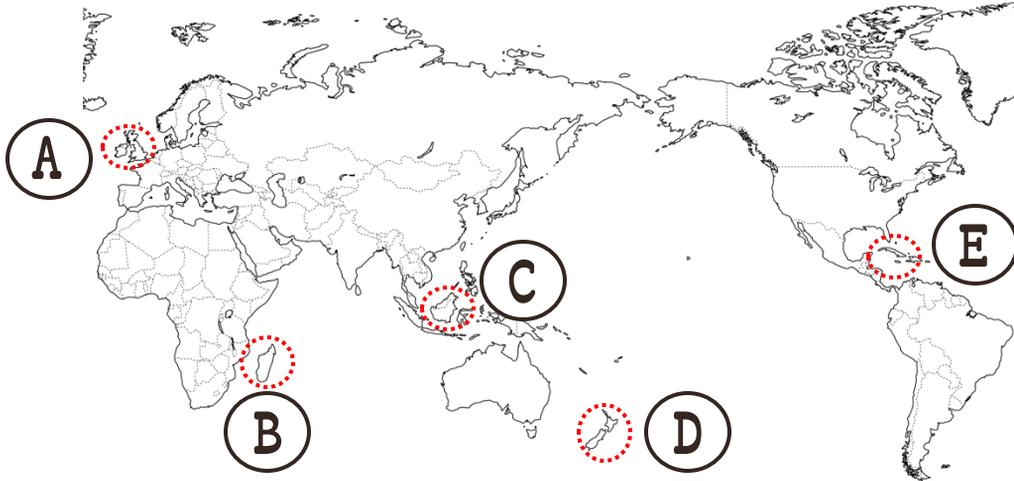
= 歴史と伝統を重んじ、
自然をこよなく愛する国 =



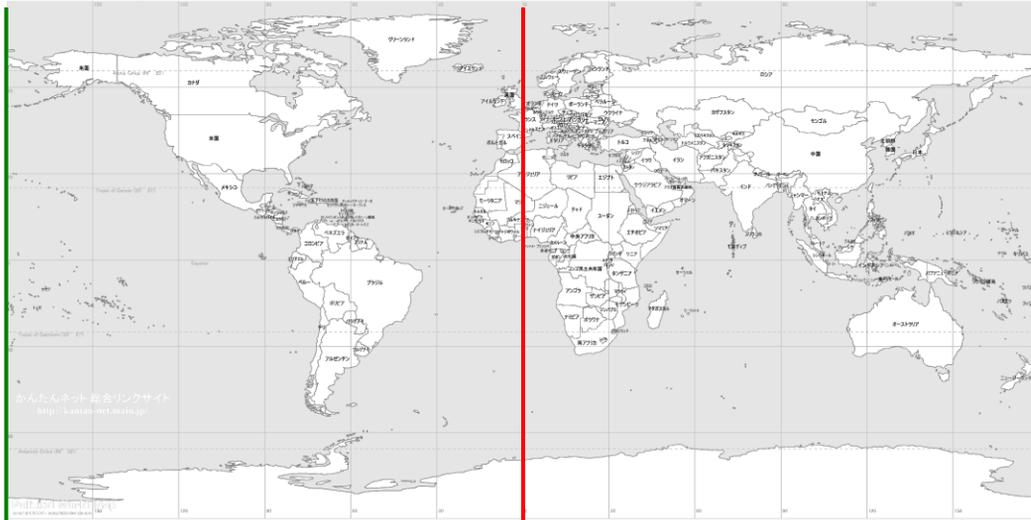
英国ってどんな国？

① ところで、みなさんは英国のこと、どのくらい知っていますか？

⑦ 英国はどこでしょう？下の地図のA～Eの中から1つ選びましょう。
ヒント：英国は日本と同じ島国です。



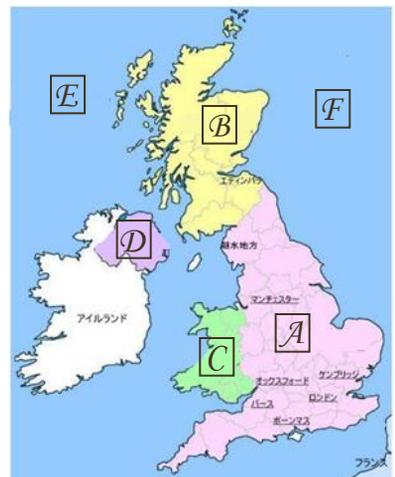
② このような形の世界地図を見たことがありますか。①の地図と比べてみて、その違いをグループで話し合ってみましょう。



③ この地図の赤色と青色、緑色の線は何を表していますか。

④ この地図は英国を表しています。英国は大きく分けてA～D4つの地域に分かれています。その地域の名前を下から選びましょう。またE、Fの海の名前は何ですか。

- | | |
|---------|---------|
| イングランド | 北アイルランド |
| スコットランド | 大西洋 |
| ウェールズ | 北海 |



英国は、大小あわせて1000ほどの島々からなっています。ほとんどは自然の島ですが、いくつかはクランノグといわれる、過去の時代に石と木を骨組みに作られ、したいに廃棄物で大きくなっていった人工の島があります。



P.5のこたえと解説です。



英国の位置、自然を把握し、英国という国をイメージしましょう。

1 A

英国は、ヨーロッパ大陸の北西に位置し、北海を挟んでフランス、ベルギー、オランダ、デンマーク、ノルウェー等の国々に囲まれています。大小あわせて約1000ほどの島々から構成されていて、大半はなだらかな丘陵地及び平原で占められており、国土のおよそ90%が可住地となっています。そのため、国土面積自体は日本のおよそ3分の2(本州と四国を併せた程度)ですが、人の住める面積は逆に日本の倍近くに及んでいます。



★その他の記号の国々

B: マダガスカル C: インドネシア D: ニューゼーランド E: キューバ

2 日本では、日本が中心位置に描かれている①の地図が使われています。ところがヨーロッパやアフリカ、西アジアでは②の地図が使われています。海外のニュースや世界史の中で、日本のことを「極東地域」と呼ばれますが、これは②の地図を見ると明らかですね。ヨーロッパ諸国から見ると、日本は「極めて東にある国」という位置関係になるためです。

3 **赤色線**: 東経・西経0度を表す基準子午線。グリニッジを通過しています。
青色線: 東経180度を表す線。 **緑色線**: 西経180度を表す線。
 ⇒地図の右は東経、左は西経として、0度の線を中心に広がるにつれて、10、20…と数字が大きくなります。東経180度の青色線と、西経180度の緑色線は重なり、この線は日付が変わる「日付変更線」です。

4 **A** イングランド **B** スコットランド **C** ウェールズ **D** 北アイルランド **E** 大西洋 **F** 北海

連合王国(United Kingdom)とグレート・ブリテン(Great Britain)の違い

英国の正式名称は「グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国」で、イングランド、スコットランド、ウェールズおよび北アイルランドから構成されています。
 グレート・ブリテンは、イギリス諸島最大の島で、イングランド、スコットランド、ウェールズだけから構成されています。「UK」または「Britain」と表されますが、この「Britain」の日本語表記が「英国」です。

英国は地球の中心！？ ～子午線が通る町、グリニッジ～

1675年、チャールズ2世は、遠洋航海に出た船の位置を測るため、ロンドン郊外東部の町グリニッジに天文台を作りました。この天文台を通る南北の線を基準子午線と定め、経度の基準を時間の基準としました。各国はグリニッジ標準時 (GMT/ Greenwich Mean Time) を基準に、時間を計算します。

天文台は現在、別な場所に移動しましたが、ここは博物館として残され、中庭には記念のモニュメントと、0度を表す子午線が引かれています。



グリニッジ元天文台(上)と、世界標準時間を表す時計台(左)



モニュメント(上左)と、経度0度を表す子午線(茶色の線)「Greenwich 00°00'w」と刻まれています。



伊藤友希

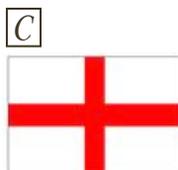
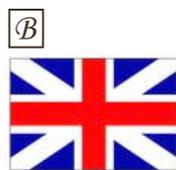
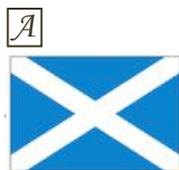


上の左の写真にあるモニュメントの下に引かれ茶色のラインの左右には、主だった都市の経度が刻まれています。日本はどこ都市が刻まれているのか?やはり首都、東京でした。「Tokyo 139° 45'」と刻まれています。「地球の東西をまたいだ!」と、ここを訪れるみなさんは、写真の人たちのように記念写真を撮ります。

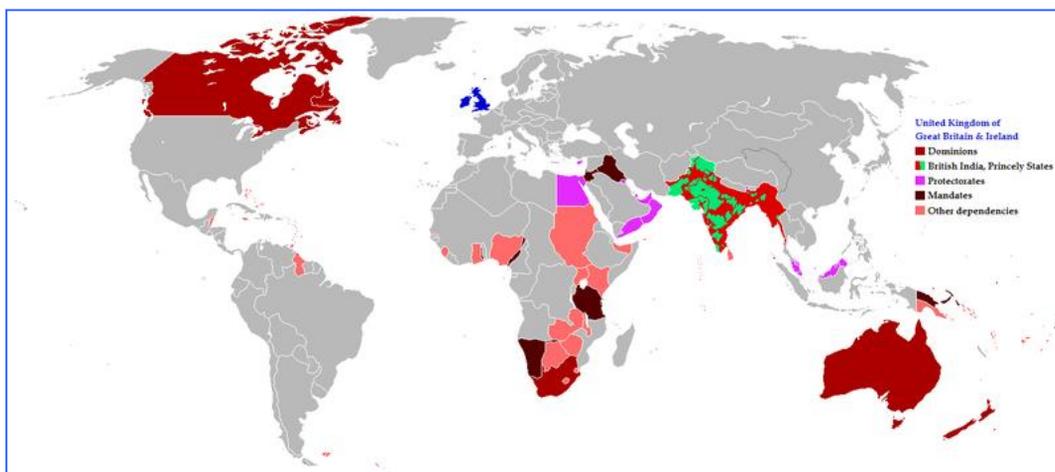
誇り高き「大英帝国」～世界中に“英国”がある!?!～

① 英国の成り立ちや領土について考えてみましょう。

1 英国の国旗はどれでしょう。下のA～Eの中から1つ選びましょう。



2 下の地図は、1921年当時の地図です。着色されている地域は当時、植民地など英国の支配下にあった国々です。このことからどんなことがわかりますか。

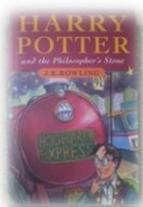


ウィキペディア

3 下の国旗はどこの国のものですか。これらの国旗の共通点はなんでしょう。グループで話し合ってみましょう。



4 みんなのまわりにある英国印、英国に関するものを探してみましょう。たとえばこんなものを見つけました。



子どもたちにおなじみの童話にも、英国オリジナルのお話を見つけました。「一粒の豆から伸びたつるを登っていったら大男が!」「上のお兄ちゃんはわらの家、2番目のお兄ちゃんは木の家、未っ子のぼくはレンガの家を造りました。そこへオオカミがやってきて…」 みなさん、何かわかりますか? そうです、『ジャックと豆の木』と『三匹の子ぶた』のお話です。

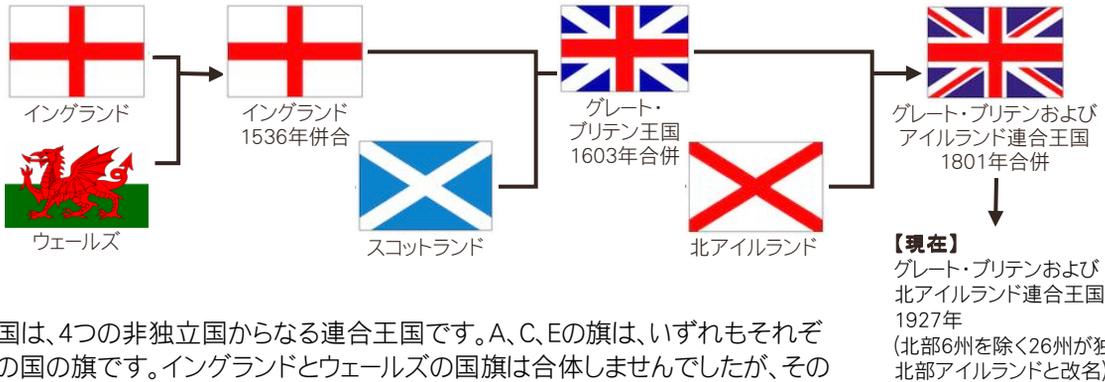


P.7のこたえと解説です。



英国の世界進出による影響を話し合い、英国を理解しましょう。

- 1 **D** 英国旗「ユニオン・フラッグ」は、一般に「ユニオン・ジャック」と呼ばれています。艦艇の船首旗竿(jack-staff)に、ユニオン・フラッグを掲げたことに由来します。イングランド、スコットランド、アイルランドの旗の紋章は、それぞれの国の守護聖人の十字を表しています。



英国は、4つの非独立国からなる連合王国です。A、C、Eの旗は、いずれもそれぞれの国の旗です。イングランドとウェールズの国旗は合体しませんでした。その後の合併ではそれぞれの旗を組み合わせて、現在の国旗ができました。それぞれの国で行われる行事やサッカーなどのスポーツでは、これらの国旗で応援します。

- 2 地図中の国々は、植民地や自治領などです(1912年当時)。オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、南アフリカ、インド など。これらの国々は、現在でも英語が公用語になっていたり、英国王がその国の国王になっています。面積をあわせると、世界の4分の1を占めました。

- 3 **A** オーストラリア **B** ツバル **C** ニュージーランド

国旗の中に、英国の国旗が含まれています。3国とも英連邦王国の国で、英国の国王がその国の国王です。

- 4 例) 英語、ハリー・ポッター、くまのプーさん、パディントン・ベア、シャーロック・ホームズ、シェークスピア、サッカー、陶器

世界にまたがる国、英国 ～大英帝国、英連邦王国、世界中にその勢力を広げた英国～

現在の英国王エリザベス2世が英国以外の国王を兼ねている、国旗の中に英国の国旗が含まれている国がある、世界中に通用する言語である英語、など。世界中に英国の影響が広がっています。ヨーロッパ北西部に位置する人口5,000万人の島国、英国。その繁栄の理由はさまざまです。

18世紀から始まった産業革命で、英国はヨーロッパで最も繁栄した国に成長し、その後の海外進出で北米、アジア、アフリカなどへ植民地などを拡大しました。大英帝国(the British Empire/ブリティッシュ・エンパイア)の形成です。34の国と地域で形成されていました。

しかし、第1次世界大戦を機に、それら植民地が自治権を求める行動が活発化し、1931年、英国議会在が発表した「ウエストミンスター憲章」を受け、海外の国々に独立や、自治権、外交権を与えられました。英連邦王国(Commonwealth Realm/コモンウェルス・レルム)の形成です。1931年のカナダをはじめ、オーストラリア、ニュージーランドなどが所属しています。

第二次世界大戦後、1950年にインドが独立したのを皮切りに、英連邦王国から続々と独立する国が現れ、現在は英国を含め16の国で形成されています。



イギリスと大陸フランスの間にある英仏海峡。英国ではドーバー海峡、フランスではカレー海峡と呼ばれ、最狭部で34kmです。1994年そこに海底トンネルが掘られ、陸上部を含めた全長は50.5kmで、日本の青函トンネルに次いで世界第2位です。

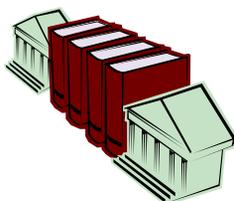
英国ってすごい！～多くの「世界初」を生み出した国～

① 次のカードは英国について書かれています。これってウソ?ホント?

① 世界で初めて、
議会制民主主義を
取り入れた。



② 世界で初めて、
憲法が制定された。



③ 世界の4分の1
が領土!という時代
があった。



④ 世界で初めて、
鉄道が敷かれた。



⑤ 世界で初めて、
切手が発行された。



⑥ 世界で初めて、
地下鉄が作られた。



⑦ 世界初の超音
速飛行機で、旅客輸
送サービスをおこなっ
た。



⑧ 「英国国教」と
いう宗教がある。



⑨ 世界で一番長い
名前の駅がある。



英国では新聞も早くから出されていました。現在、世界でもっとも信頼の高い新聞のひとつとされている「タイムズ」誌は、200年以上も前の1785年に創刊されています。



P.9のこたえと解説です。



英国の「すごいこと」に気づくことから英国への理解を深めましょう。

- 1 **ヒント** 19世紀のビクトリア女王時代に、全成人選挙権や毎年議会選挙をするなど、議会制民主主義の基盤をつくりました。
- 2 **×ウン** 英国には「英国憲法」と銘打った条文はありません。議会の議決や裁判所の判例、国際条約、慣習法などの中で、国家を規定する法令を合わせたものです。
- 3 **ヒント** 18世紀に起こった産業革命、海外進出により形成された英連邦王国によって、英国の領土はピーク時の19世紀後半には、全世界の4分の1を占める大国になりました。
- 4 **ヒント** 蒸気発動の発明による機関車が1825年設置され、英国の鉄道交通網が発達しました。鉄道の前はコーチという馬車が、交通の担い手でした。
- 5 **ヒント** 英国の切手には国名が入っていません。その理由は、英国は世界で初めて切手が発行された国なので、国名を入れる必要がなかったからです。
- 6 **ヒント** ロンドンでは、地下鉄はアンダーグラウンドといいます。トンネルが半円形のチューブのような形をしていることからふだんはチューブといいます。1863年設置。
- 7 **ヒント** 1976年、世界初の超音速旅客機コンコルドが就航しました。しかし老朽化とコスト高により2003年に運行終了となり、その姿を消しました。
- 8 **ヒント** 英国のすべての人が信仰の自由を保障され、70%以上の人キリスト教を信仰しています。英国国教はキリスト教で、国家の正式教会として法的に認められています。
- 9 **ヒント** 英国ウェールズ北部に存在する「ランヴァイル・ブルグウィンギル・ゴゲリフウィルンドロブル・ランティシリオゴゴゴホ」(Llanfairpwllgwyngyllgogerychwyrndrobwllllantysiliogogogoch)という駅です。意味は「赤い洞窟の聖ティシリオ教会のそばの激しい渦巻き近くの白いハシバミの森の泉のほとりにある聖マリア教会」です。なんと58文字!!です。

英国の発展の源 産業革命 ～近代産業の礎を築いた発明の数々～

17～18世紀に起こった産業革命で、英国は「世界の工場」と呼ばれるようになりました。工業の発達、資本主義体制の確立が進みましたが、人口の都市集中、労働者問題などさまざまな社会問題も発生しました。

【当時の英国の産業】

①農業の大規模化(農業革命)

→大地主が土地を囲い込み、大規模農場を経営し豊富な資本力を生み出した
経営者と農業労働者に分かれ、一部は都市へ流入し都市労働者へ

②工業の変化

→毛織物工業から綿織物工業へ
世界の海上交易権を握った英国は、広大な海外市場を獲得
綿花の輸入量が増加し、国内生産が盛んになった

③動力の進歩

→風車から、水力・蒸気機関へ
泥炭、石炭燃料、鉄などの資源が豊富

④機械の発明

→蒸気動力を得て、機械による大量生産が可能
製鉄業も発展



水力紡績機(1769年アークライト発明)

「風車の講義」へようこそ ウェブサイト



アメリカでは地下鉄のことをサブウェイといいます。サブウェイは英国では道路を横断するときの地下道のことです。ロンドン発の地下鉄は、コースをたいて走る機関車で引っ張ったと、記録に残っています。

英国を旅しよう！

? 英国に行きたい!! でも行く前に、観てみたい、行ってみたい場所を英国の地図に書き込んで、自分の英国地図を作ってみましょう!

1 あなたの知っている英国の場所はありますか。各グループで話しあって、それらの場所を探してみましょう。

2 下の写真は、英国の代表的な場所です。英国のどのあたりでしょうか。地形をあらわしたa, bの地図とヒントを参考に、P.37の地図に貼り付けてみましょう。

(ヒント)

- イングランドは海拔1,000m以下です。
- スコットランドは英国最高峰1,343mの山があります。
- ウェールズは山が多いです。
- 北アイルランドは、アイルランド島の北東部を占め、ほとんどが丘陵地です。

a



b



A



B



C



D



E



F



G



H



I



A 山田 夢 B 伊藤友希 G, I ジェマ・マックゴールド C, D, E, F 世界60秒巡りWEBサイト





P.11の解説です。



旅の計画を立てることで、実際に行ってみたいという興味につなげましょう。

- A** **ストーンヘンジ** 英国で最も有名な遺跡で、紀元5000年頃に立てられたと信じられています。巨大な天文時計であった、太陽に関連した崇拜の中心であったという説が有力です。
- B** **ロンドン塔** ロンドンで最も人気のある印象的な史跡の1つです。英国の歴史に関係する多くの物語がこの塔から生まれています。王権を表す宝石類が保管されているほか、牢獄としても使われたことで有名です。
- C** **カンタベリー大聖堂** イングランド南東部にある教会で英国国教の中心の教会です。建物は歴史的建造物で11世紀後半から16世紀にかけてロマネスク様式とゴシック様式で建設されました。
- D** **バースの浴場** イングランドには、鉱物を含んだ温泉が地下から湧き出ているところがあります。英国で最も有名な遺跡で、紀元5000年頃に立てられたと信じられています。
- E** **ハドリアンの城壁** イングランド北部にあり、幅3m、高さ4.5m、約120km続くこの城壁は、西暦122年に着工され、ローマ支配時代、ブリテン島北部の民族がイングランドに進入するのを防ぐために城壁を築きました。
- F** **ジャイアンツ・コースウエー** 「巨人の大道」という意味で、北アイルランドの北海岸にあります。玄武岩の柱状が層となっていて、何百万年も前に溶岩が海中に降下してできました。
- G** **ウェストミンスター宮殿とビッグベン** ビッグベンの愛称で親しまれるこの時計塔は国会議事堂の一部で、愛称は時を告げる巨大な鐘に由来します。ウェストミンスター宮殿は、歴代の国王の居城で1834年の火災で大部分が焼失し、現在の建物は1852年に完成しました。
- H** **タワーブリッジ** 英国のロンドン市内を流れるテムズ川にかかる跳開橋です。1894年に完成し当初は水力で開閉していましたが、現在では電力を利用しています。
- I** **テムズ川** ロンドン市内を流れる河川沿いにはウェストミンスター宮殿などが建ち、タワーブリッジやロンドン橋がかかっています。対岸にはロンドン・アイ(大観覧車)が1999年に開業し新たなランドマークになっています。



ロンドンアイとテムズ川

世界遺産 ～21の文化遺産と5の自然遺産～



ウエストミンスター宮殿
 ウィキペディア



アイアン・ブリッジ



ファウンティンズ
修道院遺跡



エディンバラ旧市街区



ロンドン是世界中の都市の中で、公園の占める割合が一番多いだけでなく、車の通る道路には必ず歩道がある、電柱はない、看板は少ない、街中を走る高架の高速道路はないなど、居住空間の質を高めた都市づくりがされています。

英国、オリジナル！



私たちの周りには、英国で生まれたさまざまなものがあります。探してみましょう！

4～5人のグループに分かれ、『英国が発祥の地』のスポーツを探してみましょう！

1 次のスポーツは何でしょう？この中で英国で生まれたものはどれでしょう？

A



B



C



D



E



F



 Eikokutabi ウェブサイト、ウィキペディア

2 これらのスポーツは、英国以外でも行われていますか？日本ではどうですか？
また、日本発祥のスポーツはありますか？それらは、日本以外でも行われていますか？
話し合ってみましょう。



モータースポーツの中で、レーシングカーレースの最高峰であるフォーミュラ1 (F1) で多数のチャンピオンドライバーを生み出している他、歴史的にはロータス、ティレル、現存するものとしてはマクラーレン、ウィリアムズといった数多くの名門レーシングチームが本拠地を置き、モータースポーツ車両の設計、製造において常に最先端に行く英国です。



P.13のこたえと解説です。



自分の周りにある身近なことに気づくことから始めましょう。

① すべて、英国で生まれたスポーツです。

A 競馬

毎年6月に開催される競馬のロイヤルアスコットレースは、英国王室が主催する世界的なレースです。第1回目は1711年に開催され、その歴史は今年で300年になり、エリザベス女王はじめロイヤルファミリーが観戦に訪れます。



eikokutabi ウェブサイト

B レガッタ
(ボート)

ロンドン中心地からテムズ川沿いに車で1時間弱のところにある街、ヘンリー・オン・テムズ。1839年、ここで世界最古のレガッタ競技、ヘンリー・ロイヤル・レガッタが開催されました。

C テニス

テニスは現在の形になって、1877年ウィンブルドンで開催されました。芝生のコートで行われるこの大会は、選手のユニフォームの色は白色でなければなりません。

D サッカー

英国ではフットボールと呼ばれ、近代的なルールを統一させたことから「近代サッカーの母国」と呼ばれています。

E ゴルフ

ゴルフ発祥の地とされ、毎年7月に開催される「The Open Championship(全英オープン)」は世界で最も古いゴルフトーナメントです。

F ラグビー

1930年頃、フットボールの試合中に、選手が球を抱えて走り出したのがその始まりといわれています。正しくは「ラグビーフットボール」といいます。

② 競馬では「ダービー」といわれるレースが、競馬の行われる国のほとんどであります。この他にも、テニスでは「グランドスラム」と呼ばれる4大大会が世界中で開催されます。サッカー、ラグビー、テニス、ゴルフなど、かつて英連邦王国であった国はもちろんのこと世界中で行われ、特に4年に1度行われる「サッカーワールドカップ」は世界中で7億人がテレビで観戦したと公式発表されました。

英国には4つのナショナルチームがある？

数多くのスポーツの発祥地、英国。その中でも特に人気が高いのがサッカーです。国際サッカー協会(FIFA)主催の「サッカー・ワールドカップ」のヨーロッパ地区予選には、英国のチームが4つ出場します。そのチーム名は「グレート・ブリテン」ではなく、イングランド・スコットランド・ウェールズ・アイルランドです。これらの地域には独自のサッカー協会があり、英国国内でそれぞれの地域に独自のサッカーリーグを展開しています。これらの協会はFIFAよりも早く発足しており、FIFA加盟国の中では唯一特例で、英国国内の地域単位での加盟が認められています。

また7人いるFIFA副会長の1人は、この4協会から選出されるなど、他にもいくつか特権的な地位が与えられています。



イングランド・プレミアリーグ

UEFA ウェブサイト

祝！オリンピック開催！ ～2012年 ロンドンオリンピック～

記念すべき30回目を迎える2012年のオリンピックは、7月27日から8月12日まで、パラリンピックは8月29日から9月9日まで、ロンドンで開催されます。

2003年、世界9都市が2012年大会の開催地に立候補しましたが国際オリンピック委員会(IOC)により、候補都市はロンドン、マドリード、モスクワ、ニューヨーク、パリの5都市に絞られました。マドリードやパリが有力でしたが、2005年、ロンドンが僅差でパリを破り、招致合戦に勝利したことが発表されました。ロンドンは1908年、1948年、そして2012年と、世界で初めて3度目のオリンピックを開催する都市となり、障がいのある人たちが参加するパラリンピックは、2012年で14回目となります。日本は過去2回のロンドンオリンピックには参加していないため、今回が初参加になります。



ロンドンオリンピックPRのバナー

駐日英国大使館



競馬の「ロイヤルアスコットレース」は、社交界の夏の大イベントです。意外な見どころは来場者のファッション。来場者はほとんどが正装で訪れ、紳士はモーニング服に帽子、淑女はイブニングドレスに帽子姿です。淑女の帽子の奇抜なデザインが目を引きま。

こんなに○○○○!? 英国料理



英国料理といえばどんなものを思い浮かべますか? あなたのまわりの英国料理を探してみよう!

次のカードは英国で見かける料理です。名前と写真をつなぎ合わせてみましょう。
この中には英国で生まれた料理があります。どれかわかりますか。

A



1 ローストビーフ
ヨークシャー・
プディング添え

2 ハギス

E



B



3 スコッチエッグ

4 チキン
ティッカマサラ

F



C



5 サンドイッチ

6 チェダーチーズ

G



D



7 イングリッシュ・
ブレックファースト

8 フィッシュ・アンド
・チップス

H



「サンドイッチ」という名前の語源となった第4代サンドイッチ伯爵ジョン・モンタギュー。最初の予定では彼は第1代ポースマス伯爵になるはずでした。もしそうだったら、現在食べているサンドイッチは「ポースマス」と呼ばれていたかもしれません。



P.15のこたえと解説です。

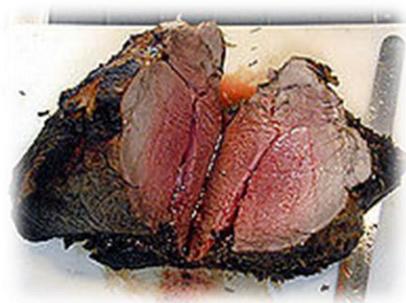


料理を通して、英国の人々の生活に触れましょう。

- 1 **E** ローストビーフ(roast beef)に付け合せのシュークリームのようなヨークシャー・プディング、フライドポテト、それにグレイビーソースをかけるーこれが英国肉料理の定番です。
- 2 **H** ハギス(Haggis)は、羊の内臓に麦やたまねぎを刻んで羊の胃袋につめてゆでた、スコットランドの最も有名な郷土料理です。見た目はそうでもありませんがとても美味です。
- 3 **C** スコッチエッグは、固ゆでした卵の殻をむき、塩コショウやナツメグなどの香辛料で調味した牛や豚のひき肉で包み、小麦粉、溶き卵、パン粉をまぶして揚げたものです。
- 4 **G** カレーは、18世紀に英国の植民地インドのカレー料理が伝わり、香辛料を調合したカレー粉が商品化され家庭料理として定着しました。このチキンティッカマサラは、インド料理のチキンティッカをカレーソースで煮込んだ英国で生まれたカレー料理です。
- 5 **F** 18世紀頃の英国に、第4代サンドウィッチ伯爵ジョン・モンタギューという人がいました。彼は食事をするのも面倒なくらい、トランプゲームに夢中で、ゲームを中断するのを嫌い、ある日メイドにスライスしたパンに肉を挟んで持ってくるように言いました。これが広まって肉を挟んだスライスパンは以後、サンドイッチと呼ばれるようになりました。
- 6 **D** チェダーチーズは、イングランドのサマセット州チェダーで生産され、その歴史は800年以上です。英国のチーズ市場では50%以上を占め、英国でもっとも一般的なチーズです。
- 7 **B** イングリッシュ・ブレックファーストー英国式朝食は、ソーセージやベーコン、豆類、加熱した卵料理など内容が充実しています。品数が少ないアメリカン・ブレックファーストや温かい料理のないコンチネンタル・ブレックファーストと比較されます。
- 8 **A** タラなど英国近海の魚と、拍子木型に切ったじゃがいもを油で揚げたものです。英国の典型料理で、紙の袋に揚げたてを入れて塩と酢を振りかけて食べます。

伝統的な英国料理 ローストビーフ

ローストビーフ(英: roast beef)は、伝統的な英国料理のひとつです。牛肉の塊をオーブンなどで蒸し焼きにしたもので、焼きあがった後は薄くスライスして、グレイビーソースをかけて食べます。葉味としてホースラディッシュ、マスタードやクレソンとともに供されます。またサンドイッチの具やハッシュドビーフに用いられることもあます。中身をほんのり赤みが残る程度に焼き上げるのが最上とされ、焼き過ぎないようにします。



英国では、ローストビーフは伝統的に日曜日の午後に食べる昼食(= Sunday dinner)のメインディッシュとして扱われ、ヨークシャー・プディングを添えます。英国ではローストビーフが主食であり、ヨークシャー・プディングやチップス(=フライドポテト)は付け合わせです。

残った冷たいローストビーフは、翌日の月曜日にチップスとサラダとともに晩ご飯とします。かつての英国貴族は日曜日には牛をまるごと一頭屠ってローストビーフを焼く習慣があり、大量の残り物を残りの平日の食事としていました。このような習慣によって、「英国料理ではローストビーフが一番おいしい!」となり、それ以外はあまりおいしくないといわれる原因のひとつになっているのかもしれません。

その一方で、ローストビーフの残り肉の調理法のひとつとして、植民地インドから入ってきたカレーに残ったローストビーフをいれたビーフカレーが生まれ、他国にも広まっていきました。インドカレーは野菜や豆を入れるのが主流で、牛肉を入れたカレーは画期的でした。



英国海軍の定番料理であったビーフシチュー。それにカレー粉が入ったビーフカレーは、英国海軍の新たなメニューに加えられました。明治時代の日本の海軍にそのカレーが伝わり、それが日本へ伝わったカレーの起源です。



ちょっとブレイク



英国の優雅なティータイム ～紅茶をこよなく愛する英国の人々～

英国では「あらゆることがティー（紅茶）のために停止する」と歌にあるほど、紅茶は英国人にとって最も愛されている飲み物です。その楽しみ方も、英国人の生活にしっかりと溶け込んでします。そんな一日のティータイムの楽しみ方を紹介しましょう。



午前

●モーニングティー

別名ベッドティーとも呼ばれ、朝起きがけに濃いミルクティーを飲むのが一般的です。

●イングリッシュブレイクファーストティー

「英国でおいしいものを食べたかったら朝食を3回食べてごらん。」作家サマーセット・モームの言葉です。英国流伝統的朝食は、ミルクティーに、卵、ベーコン、魚、薄焼きトーストにバターやマーマレードをつけます。パンの代わりにシリアルやオートミールもあります。

●イレブンジス(午前10～11時頃)

仕事や家事の合間、ビスケットと濃く入れたミルクティーで20分程度の短いティータイム。病院や学校、警察などあらゆる機関で、この習慣が続けられています。



午後

●アフタヌーンティー(午後3時頃から1時間程)

もっとも有名なティータイム。ポットのお茶とたっぷりのミルク、砂糖、ホットウォータージャグ(お湯入りのポット)と、3段のケーキスタンド。下段からサンドイッチ、スコーン、ケーキが並び、甘くないもの=下段のサンドイッチから順にいただくのが正式な食べ方です。山盛りのジャムとクロテッドクリームをスコーンにつけて、のんびりとお話ししながら熱い紅茶を堪能します。

●ハイティー(夕食前)

帰宅後、家族とともに楽しみます。

●アフターディナーティー(食後)

食後、薄めに入れたティーや、ハーブティーを楽しみます。ティーだけでなく、コーヒーやアルコールなどいただけます。



3段トレイ(中央)とクロテッドクリーム(右側の皿のクリーム色の塊)。ロンドンのホテルでのアフタヌーンティー



伊藤実彩



お茶の入れ方

ポットを温め、茶葉を人数分スプーンですくい、最後にポットのためにもう一杯茶葉を入れます。最近はティーバッグがほとんどです。ティーバッグでも人数分のバッグに、もう1バッグ、ポットのためにいれます。Brown Betty(ブラウベティ)と呼ばれる丸いポットで入れるのが、英国流紅茶です。沸かしたての湯を茶葉に注いで2～3分待ちます。

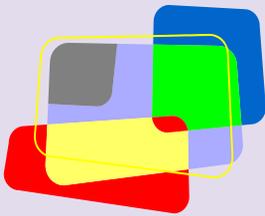
最後の一滴は「ベストドロップ」と呼ばれ、ジャグのお湯で薄めていただきます。ポットのお茶を飲みつくすほど、長い時間会話を楽しみ、充実した時間を過ごせたこと。ティータイムが充実していた表れということで、たとえ渋い味でも最後の一滴は、最高の一滴「ベストドロップ」なのです。



「急がなくちゃお茶の時間に遅れちゃう」英国の作家ルイス・キャロルの名作『不思議の国のアリス』の中に出てくる、モーニング服を着たうさぎが、こう言いながらアリスの前を走り去って行く場面は有名ですね。気品ある落ち着いた感じの英国の貴族たちも、どんなに忙しくしていてもお茶の時間だけは、このようにこだわっているようです。

 第2章

へえ～！英国と日本



似てる？似てない？英国と日本

～伝統ある制度を重んじる2つのファミリー～

① 英国王室と日本の皇室、伝統ある制度の特徴をみてみましょう！

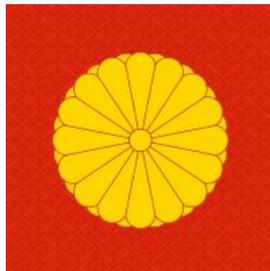
4～5人のグループで考えてみましょう。

① 次の写真は英国王室ファミリーと日本の皇室両家を表す紋章です。両家について知っていることを、グループ内であげてみましょう。

A



B



② 国王と天皇、それぞれの国でどのような立場にあるのでしょうか。下の文章を読んでグループで考えてみましょう。

英国国王 → 「国王は君主すれども統治せず」

天皇 → 「天皇は日本国の象徴であり、日本国民統合の象徴であって、この地位は主権の存する日本国民の総意に基く」(日本国憲法 第1章第1条)

③ 国民生活の中で、似ていること、似ていないことを探してみましょう。次のカードは英国について書かれています。これってウソ？ホント？

A

自動車は右ハンド
ルで、左側通行である。



B

たばこは自動販売
機で売っている。



C

国会議員を選ぶ選
挙権は20歳からある。



女王の誕生日は2回あります。現女王エリザベス2世は4月21日生まれますが、夏のある日に君主の誕生日を祝うことが慣習になっています。1805年以来、君主の「公式の」誕生日は通常、6月の第2土曜日の「軍旗敬礼式」で祝福されます。



P.19の解説です。



英国王室と日本の皇室について、その制度から英国への関心を高めましょう。

- 1 **A** 英国王室国章 この国章はエリザベス女王の紋章でもあります。
- B** 日本の皇室 十六弁八重表菊紋。天皇家の御紋です。

2 「君主すれども統治せず」

英国では、「国王は王位についても、国の政治を直接動かさない」という伝統があります。英国は立憲君主制のもとで、国王が国を統治することになっています。しかし実際には、議会制民主主義に基づき、議会と内閣が責任を持って政治を行っています

「天皇は日本と日本国民統合の象徴」

日本では、「天皇は日本国憲法の定める国事行為を行い、国の政治に直接かかわる権能を有さない」と定められています。国事行為には、三権の長の任命、国会の召集、法令等の公布、などがあります。これらの国事行為には、内閣の助言と承認が必要とされ、内閣がその責任を負うことが定められています。

日本では幕末から明治時代にかけて近代化をめざしていたとき、英国を理想の国としてその手本としてきました。島国であること、産業や貿易で国が栄えていること、王室があること、伝統を大切にすることなどが、日本と似ているところもあって、親しみを持っていました。

- 3 **A** **ホント** 左側通行を採用している国は、世界中で英国、日本のほか、英国の植民地であった国の多く、インド、オーストラリア、ジャマイカなどがあります。
- B** **×ウソ** 英国では、街中でたばこの自動販売機を見かけません。たばこだけでなく、飲み物もそうです。自動販売機があるのは空港や駅、大きなバス停などです。
- C** **×ウソ** 下院議員を選ぶ選挙では、18歳以上の国民による総選挙で議員を選びます。

ロイヤルウェディング ～ウィリアム王子のご結婚～

2011年4月29日、英国ウィリアム王子とケイト・ミドルトンさんの結婚式が行われます。その結婚式招待状が、2月16日から17日にかけて発送されました。英国王室が20日に明らかにしました。招待状のカードには、1枚ずつ金の王室モノグラムと王冠が刻印され、英国侍従長事務所の職員が発送しました。

当日は午前11時からウェストミンスター寺院(定員2,200人)で行われる結婚式に、約1,900人が参列する見通しで、英国王室から50人余り、外国の王族40人余りのほか、各国の政府当局者や外交官ら200人余り、ウィリアム王子が支援する慈善団体から80人前後が招かれます。

挙式後には、王子はミドルトンさんとともに馬車に乗り、バッキンガム宮殿までパレードする予定です。宮殿ではエリザベス女王主催の昼食会に約600人、チャールズ皇太子主催の祝賀晚餐会に約300人が出席します。

王室は招待者のリストを公表していませんが、日本からは皇太子ご夫妻の出席が検討されています。



ロンドン (CNN)



ウィリアム王子の父、チャールズ皇太子は、エリザベス女王の王位継承者第1位です。女王をはじめ皇太子一家も、英国の産業、慈善活動などを進めるために公式行事に出席します。皇太子の収入は、英国中に持っている所有地からあがってきます。その他の王室の人々は、議会で決められた手当を得ています。

英国紳士・淑女は学校から～英国の教育制度～



次のカードは英国の教育制度について説明しています。これってウソ?ホント?



1 義務教育は5歳から16歳までの11年間である。



2 義務教育は住んでいる地区の学校へ通学して受ける。



3 義務教育の間に、学力を調べる共通国家試験がある。



4 「パブリックスクール」は「公立学校」という意味である。



5 女子の大学生が初めて誕生したのは英国。



6 給食はなく、小学校での昼食は、家からお弁当を持参する。



7 遠足は有料である。



8 公立学校のカリキュラムには、「市民教育」という科目がある。



1987年に始まったJETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)に参加した英国青年は、9,308名(2009年8月まで累計分)にのびります。英語指導だけでなく、文化紹介や相互理解など、自治体や学校で活躍しています。



P.21のこたえと解説です。



英国の学校の制度を知り日本の制度と比較してみましょう。

- 1 **○** **ホント** 日本の小学校にあたるのは11歳までの6年間で、中学校にあたるのは11歳から16歳までの5年間で、この後に2年間の高等学校があります。
- 2 **×** **ウソ** 英国は、両親に自分の子どもを通わせる学校を選ぶ権利を認めています。また、必ずしも「学校」という教育機関に就学させる義務はありません。
- 3 **○** **ホント** 全国統一学力試験は、7歳、10歳、13歳、16歳のときに行われます。中学校の終わりの16歳の試験は、進学コースか就職コースを決める大切な試験です。
- 4 **×** **ウソ** パブリック・スクールは、伝統と歴史ある全寮制の私立学校で13歳から18歳まで教育します。イートン校やラグビーフットボール発祥の地ラグビー校が有名です。入学のためプレップスクール(準備学校)に通います。公立の小学校からでもパブリック・スクールに進学できますが、プレップスクールへ通ってから進学することが普通です。
- 5 **○** **ホント** 女子に大学教育の機会を最初に与えたのが、1848年ロンドン大学のクィーンズ・カレッジでした。
- 6 **×** **ウソ** 学校ではスクールランチが用意され、ランチルームでみんなといっしょに食べます。メニューはソーセージが入ったパンやスコーン、プディングにミルクなどです。ただし、有料なので、お弁当を持参することもできます。
- 7 **○** **ホント** 義務教育では、公立学校の授業料は無料ですが、スクールランチ同様、遠足も実費がかかります。
- 8 **○** **ホント** 公立学校では、義務教育を4段階に分けてカリキュラムが設定されており、数学、英語、理科、歴史、地理、技術、情報技術、音楽、芸術、体育、現代外国語、市民教育の12科目が必修となっています。市民教育は2002年から導入され、「責任ある社会的行動」「地域社会への参加」「民主社会の知識・技能の習得・活用」を学びます。日本の「総合的な学習の時間」と少し似ています。

伝統ある建物で学ぶ ～英国エリートの出身校～

英国の名門学校



パブリックスクールの代表格、イートン校(左)とラグビー校(右)



オックスフォード大学(上)とケンブリッジ大学(下)



大学の卒業式 ガウンに角帽



オックスフォード大学は、12世紀に英国で最初に創設された大学です。現在、39の独立したカレッジ(単科大学)で構成され、そのうち1校が女子校で、残りは男女共学です。ケンブリッジ大学は、1209年にオックスフォード大学から独立して創設されました。



大英博物館 The British Museum



バッキンガム宮殿の近衛騎兵部隊



大英博物館 ロゼッタ・ストーン
3種の文字の解明につながりました



マダム・タッソーろう人形館 ビートルズ(左)と
ウィリアム王子兄弟(右)



地下鉄駅のおしゃれな壁
トットナム駅(上)とベイカーズストリート駅(下)



ロンドンバス“ダブルデッカー”



シャーロック・ホームズゆかりの駅です



ロンドンタクシー
“ブラックキャブ”

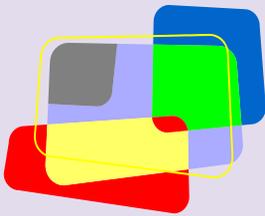
📷上6枚：伊藤友希 下4枚：伊藤実彩



最上段右側は、バッキンガム宮殿の近衛騎兵の交代の様子です。1月だったので、グレーのロングコートを着ていました。近衛騎兵には赤い服装の部隊と黒い服装の部隊があり、一日おきに交替してバッキンガム宮殿の護衛につきます。

 第3章

一緒に考えよう！こんな課題



自然、物、人にやさしい国 ～自然環境保護の国、英国～

① いくつかの視点から、英国の自然、環境問題をみてみましょう!

4～5人のグループで考えてみましょう。

- ① 産業革命で飛躍的な発展を遂げる英国。しかしその反面、自然環境に大きな影響を与えました。次のカードはその結果、自然に与えた影響です。これからどんなことがわかりますか。

森をつぶした大航海時代 (16世紀末)

大航海時代を経て海上覇権を握りましたが、巨大艦船を作るため、英国の森の巨木は切り倒されました

森をつぶした産業革命 (17～18世紀)

工業の動力用の燃料として木炭が使われ、そのため森林の樹木を切って、木炭にされました。

川を汚した産業革命 (17～18世紀)

都市部への人口増加により工業排水や生活排水の川への流出によりテムズ川への汚染が進み、生態系が破壊されました。
(例: カキの死滅)

- ② 世界遺産である歴史的建造物や古城などが、現在も美しい庭とともに残っている英国。その保護のためには、何が必要でしょうか。



イングリッシュ・ガーデン

自然を生かし、人の手が入っていても樹木や草花が自然に生えたかのように整えるのが英国式ガーデニングです。

④ (左上・下) ジェマ・マックゴールドリック (右) Wikipediaウェブサイト





英国の自然保護運動「ナショナル・トラスト」

1 2

● 産業革命がもたらしたもの ～自然破壊、都市部の混雑、農村部の荒廃～

18世紀に産業革命が始まると、国の基盤が農業から工業へ、田舎から都市へ移りました。農村から都市へ人口が流出し、農村は荒廃し都市は人口の爆発的な増加により、生活環境が著しく悪化しました。また自然破壊が急速に進み、歴史的建造物の多くが失われつつありました。

● ナショナル・トラスト(National Trust)運動

そんな中、美しい自然や歴史的建造物とその環境を末永く守り続けていくために、市民からの寄付金や寄贈、遺贈などによって土地や建造物を取得し、これを保全、維持、管理し、一般に公開していく組織をつくろうと、1985年に非営利法人「ザ・ナショナル・トラスト」が設立されました。この運動は世界中に広がっていきました。

1902年にはピーター・ラビットの生みの親、ヘアトリクス・ポーターが、湖水地方の美しい風景を守るために土地を買い取り、ザ・ナショナル・トラストにその維持管理を委ねました。同協会はその後も存亡の危機にあった多くのカントリーハウスの保存活動を展開するなど、世界のナショナル・トラスト運動の先駆けとなりました。

1930年代、相続税を払えないため地方の広大な敷地にある屋敷を手放す人が増えましたが、トラストは全部を買う財力は無く、寄付されたところで維持はできませんでした。そこでトラストは英国議会に働きかけ、維持費を生み出す農地も寄贈してもらうことができるようにし、1930年には相続税を非課税にすることに成功しました。

1950年代、車の普及と同時に、工場用地やリゾート地として海岸線の開発が始まりました。トラストには海岸線を永遠に自然のまま保存する必要を感じ、1965年から募金を始め獲得に乗り出しました(ネプチューン計画)。目標はイギリスに残っている未開発の海岸線900マイルをトラストで獲得し、保存しようというものです。実現すれば、イギリスの全海岸線3000マイルの約3分の1を所有することになります。現在、約500マイルは購入や寄付により獲得に成功し、残りの400マイルについては将来売りに出た時点で可能な限り買うことにしています。

動物、物、すべてにやさしい英国の人々

● 動物愛護の心

英国は動物をたいへん愛護する国です。獣医の数や動物病院も多く、獣医はなりたいたい職業の上位を占め、尊敬される職業です。英国では、基本的に野良犬や野良猫が存在しません。各種動物のレスキュー団体があって、野良動物は発見者の通報ですぐに保護されます。レスキュー団体は、保護された動物を新しい飼い主が見つかるまで世話します。レスキュー団体へは、ペットを探している人が登録していて、野良たちは比較的すぐに新しい飼い主の元へともらわれていきます。子猫や子犬などは順番待ちのことも多く、結構入手が難しかったりします。

動物愛護団体の管理するセンターであるパタシーは、ロンドンにある英国でも大きなレスキュー団体です。

また、RSPCA (Royal Society for the Prevention of Cruelty to Animals: 王立動物虐待防止協会)は動物と人の関係を見張り、動物を守り、動物の地位の向上を目指す団体です。英国ではそういう呼び方はしませんが、いわゆる英国の“アニマルポリス (Animal Police: 動物警察)”です。

● D.I.Y(Do It Yourself/日曜大工)の達人

英国では古い家を自分の手で修理したり、リフォーム(改造)することが盛んです。石造りの家が多く、耐久年数が長いので、自分の生活に合わせて改造し、そこで“のんびり”過ごします。電気や水道も個人で改造することが認められているので、自分で大掛かりに手を加えます。材料も容易に手に入り、写真のお持ち帰りバスバセットも£149という安価で売っていました。



ナショナル・トラストの所有する歴史的建造物には、有名人の自宅や多くの美術品を有するすばらしいカントリー・ハウスもあります。国王エリザベス2世から、ポップグループとして初めて「ナイト(騎士)」の称号を受けた、ビートルズのポール・マッカートニーのゆかりの地も管理しています。

「英国ってこう！」ってホントに言える？

～いろいろな文化が混ざり合っできた英国文化 (Multicultural Britain)～

 英国の多文化性について考えてみましょう。

4～5人のグループで考えてみましょう。

- ① 下の写真は、2001年にロンドンで撮影された写真です。これを見て考えられることを話し合ってみましょう。



- ② 下の表は、英国の2001年人種別人口統計調査です。このことからどんなことがわかりますか。

人種 *1	全人口	
	千人	%
白人	54,154	92.1
混血	677	1.2
アジア系英国人*2	2,331	3.9
黒人系英国人 *3	1,149	2.0
中国人	247	0.4
他	231	0.4
少数民族の住民	4,635	7.9
総人口	58,789	100

*1 人種の表記については、統計局の表記に準じています

*2 インド人、パキスタン人、バングラデシュ人、その他で分類

*3 黒人系カリブ人、黒人系アフリカ人、その他で分類

 Census/国勢調査(2001.4)
Office for National Statistics / 国家統計局

- ③ 資料(→P.28)を読んでみましょう。
- ④ 多文化であることのメリットは何だと思えますか？ デメリットは何だと思えますか？
- ⑤ 日本は多文化だと思えますか？
- ⑥ 多文化であることのメリットを活かし、デメリットを補うためにはどうすればいいと思えますか？



ハロウィーン(万聖説の前夜/10月31日)と魔女・幽霊との関連は、ケルト族の、夏から冬にかわる「大晦日の夜」=幽霊が地上を歩き回り、魔女が出るといわれた夜=に由来しています。



多様性文化の国 英国 ～2千年におよぶ民族の流入～

- 2001年10月2日、トニー・ブレア首相(当時)の演説で、「多文化的な英国」という表現がクローズアップされました。その後様々な施策の上で、この課題が検討されています。
- 駐スロバキア英国大使館ホームページ掲載(2009年11月14日)より抜粋



Multicultural Britain 多文化的な英国

英国は、人種的、宗教的、文化的な背景が異なるおよそ6,060万人からなる、多文化の国です。

なぜ、英国はそれほど多様なのでしょうか?

少数派人種集団は、英国に定着し何世紀もの間、彼ら自身の文化から離れました。今日、およそ460万人、人口の7.9パーセント(2001年国勢調査)の少数派人種集団が住んでいます。

*1千年から英国に定着した一部のコミュニティは、以下を含みます

ケルト人—彼らは紀元前1千年から英国に住んでいましたが、ローマの侵入の後、スコットランド、ウェールズ地域に追われて住んでいます。

ローマ人—ヨーロッパ全域に勢力を拡大したローマの侵入の後、英国に住みつきました。彼らは、英国に初の黒人の人々を連れてきました。

北ヨーロッパからの移民—彼らは、ローマ帝国の崩壊により、英国に来たデンマーク人、アングロ人、サクソン人を含みます。

ユダヤ人—移民は1066年以後始まりました。

ジプシー—16世紀から18世紀初め、イスラム教徒として来ました。

アジア・カリブ海からの移民—大英帝国の崩壊の後、英国は1960年代、1970年代にインド、パキスタン、バングラデシュからの移民が、そして、1940年代、1950年代のカリブ海からの移民が英国へ来ました。

政治的、宗教的な難民と亡命希望者は、今日、英国へ亡命してきて在留を認められています。欧州連合の拡大により、何人かの東のヨーロッパ人が近年英国に移住してくる傾向が見られます。

* 差別に取り組むこと

英国政府は、誰でも公正に、そして、等しく扱われることを確実にするため、いくつかの法律を設置しました。英国反差別法は、人種、障害、性別、性的好み、宗教と信念、年齢などに基づき、全てのことに於いて差別することを禁ずるもので、2007年10月に作られました。

* 宗教

英国は、誰にでも彼ら自身の宗教を实践する自由がある社会です。

【英国の主要な信仰(2001年国勢調査)】

キリスト教 - 住民の71.6パーセント、イスラム教 - 2.7パーセント、ヒンズー教 - 1.5パーセント

シーク教 - 0.6パーセント、ユダヤ教 - 0.5パーセント、仏教 - 0.3パーセント

宗教的多様性は、英国での生活の様々な領域で見られます。たとえば、いくつかの公立学校は宗教的グループに通われます、テレビ局、ラジオ、印刷出版やウェブサイトは、特定の信仰と信頼に拠点を置く政党(例えば英国のイスラム党と地方選挙のクリスチャン党などの投票キャンペーン作戦)の範囲を専門とします。英国の大部分の地方自治体にも、それぞれのコミュニティでグループに連絡を取る特別な役員がいます。彼らの主要な仕事は、地域の宗教的なコミュニティのより広い認識と理解を構築することが必要です。

* 文化的な生活

現代の英国のすべての文化 - 音楽、ファッション、食物や言語まで - は、異なる民族のコミュニティ、文化と社会的グループによって形づくられています。英国の年中行事カレンダーは、多文化的な英国を反映して、文化的、社会的、宗教的なお祭りで詰まっています。エスニック料理はレストランや、スーパーマーケットでは多種多様な異なる食器とスパイスなどをすぐに利用できます。

英国の都会に住む若者は、服、言語、音楽など、彼らのスタイルのために世界中で流行を作り出しました。大部分は民族のスタイルのユニークな組み合わせに基づきます。テレビとラジオ、日刊紙、雑誌、業界誌まで、少数民族に対してのメディアがあります。



イースター(復活祭)の日は、春分の日に祭りが行われるサクソン族の春の女神「イースター」にちなんで名づけられたものです。イースターは、今ではキリストの復活を祝うキリスト教会の春の祭りです。3月22日から4月25日までの、ある日曜日がイースターの日になります。



フォトギャラリー

～イングランドのカントリーサイド 夏と冬～



築200年以上のチャペル。美しいガーデンがすてきです。



チャペルの前を流れる川。静かに流れています。



外は一面の銀世界でした。



薪ストーブ 壁はDIYでリフォーム



薪ストーブの横にはクリスマスツリーが飾られていました。

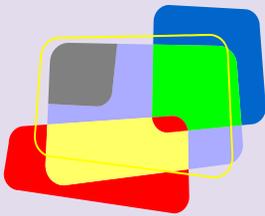
ジェマ・マックゴールドリック



英国では、クリスマス・デーは家族と一緒に家で過ごすのが一般的であり、家族とそのきずなを祝う日とみなされています。クリスマス・ツリーは今では英国で定着していますが、これはビクトリア女王の夫君プリンス・アルバートが、1840年に母国ドイツからその習慣を取り入れ、その後普及したものです。

 第4章

そして未来へ



ランキングで考える元気な地球のつくり方

① 今、日本は元気でしょうか？ 地球は元気でしょうか？

1 まずは、次のニュースを読みましょう。



日本のGDP、中国に抜かれ世界第3位に！

GDP(国内総生産)は国の経済力を表す指標で、その国で1年間つくられたものや提供されたサービスなどの金額をすべて合計した数字。内閣府が2010年2月14日発表した10年の日本の名目GDPがドル換算で5兆4,742億ドル(479兆2,231億円)となり、中国の名目GDP5兆8,786億ドル(39兆7,983億円)を下回り、世界第3位になりました。日本は1968年以来世界第2位の経済大国でしたが、43年ぶりにその座を明け渡しました。

2 では、P.33の資料を見てみましょう。国際通貨基金(IMF)による2010年の「国内総生産(GDP)」「人間開発指標(HDI)」「国民総幸福度(GNH)」の国別ランキング上位を表した表です。(→詳細P.32)A~Iにはどこの国が入ると思いますか？ また、①のニュースとこれらの表を見て、どんな感想を持ちましたか？ みんなで話し合ってみましょう。

3 では、これから日本はどんな国を目指していったらいいと思いますか？自分自身がどんな国で暮らしたいかを考え、次のカードの優先順位の高いものから下のように並べ、その理由も考えてみましょう。(下のカード以外に新しいカードをつけ加えてもOKです。)



経済力の強い国

食料自給率の高い国

古くからの伝統文化
を守り続ける国

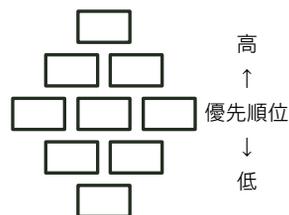
多様な人々を受け入
れる多文化共生の国

平和な国

誰もが平等な国

自然豊かで環境を
守る国

誰もが高い質の教育
を受けられる国



4 グループでそれぞれが考えたランキングを共有し、その理由もお互いに伝えてみましょう。

5 グループで話し合ってみて、どんな感想を持ちましたか？全員で感想を話し合ってみましょう。

6 では、グループのみんなが暮らしやすい国を実現するために大切なことは何だと思いますか？「国が元気」というのはどういうことだと思いますか？ グループでまとめ、模造紙を2つに分けて、左半分には書き出してみましょう。

7 さて、みんなが⑥で書いた模造紙をもう一度見てみましょう。日本が元気になった時、日本以外の他の国は元気ですか？日本が元気になることで、他の国の元気を奪ってはいませんか？日本だけでなく、日本を含めた地球全体が元気になるために大切なことは何でしょう？⑥の模造紙の左半分には書いたアイデアにつけ加えたり修正したりするものがあれば、右半分には書き出してみましょう。

8 グループで考えたことをみんなで共有しましょう。

9 このアクティビティに正解はありません。これまでの作業を通して、どんなことを感じましたか？感想をみんなで話し合ってみましょう。



P.31のこたえと解説です。



「豊かさ」の指標を通して、だれもが暮らしやすい社会とはどんな社会なのか考えよう。

- 2 A アメリカ合衆国 B インド C ドイツ
D ノルウェー E オーストラリア F ニュージーランド
G デンマーク H スイス I オーストリア

国の状況を表す様々なランキング

● 国内総生産 (GDP: Gross Domestic Product)

GDP (国内総生産)とは、日本の国内で、1年間に新しく生みだされた生産物やサービスの金額の総和のことです。GDPはその国の経済の力の目安によく用いられます。また、経済成長率はGDPが1年間でどのくらい伸びたかを表わすものです。経済が好調なときはGDPの成長率は高くなり、逆に不調なときは低くなります。GDPは市場価格をベースに計算されるため、物価の変動の影響をうけます。その物価変動を考慮しないものを「名目GDP」、物価変動を考慮したものを「実質GDP」といいます。例えば、2009年から2010年に名目GDPが100兆から200兆になったとしても、物価が2倍になっているとすると、実質GDPは100兆のままです。

GDPと似たものに、GNP (Gross National Product:国民総生産)があります。GDPが国内で新たに生産された物やサービスの付加価値の合計額であるのに対し、GNPは国内に限らず海外の日本企業の生産額も含まれます。以前はGNPがよく使われていましたが、最近では、国内の景気をより正確に測る指標としてGDPがよく使われます。また、GNPとほぼ同一のものとして、GNI (Gross National Income:国民総所得)があります。1993年の国連による勧告に基づき、日本政府が導入した国民経済計算の体系 (93SNA) では、GNPの概念を廃止し、GNIを導入しています。

経済産業省キッズページ

● 人間開発指標 (HDI: Human Development Index)

人間開発の3つの基本的な側面「健康で長生きできるかどうか」「知識を得る機会があるかどうか」「人間らしい生活を送れるかどうか」について、長期にわたる進歩の度合いを測定するための総合的な指標。国連開発計画が毎年発表している「人間開発報告書」で報告されますが、その内容は年々修正されています。2009年までは、出生時平均余命、成人識字率および初・中・高等教育の総就学率、そして米ドル建て購買力平価 (PPP) に換算された1人当たりの国内総生産 (GDP) に基づいて算出していましたが、2010年には新たな3項目が追加されました。それは、

◎不平等調整済み人間開発指数

健康状況と教育状況、それに所得の分配状況に関して、どの程度の不平等が存在するかに基づいて、国ごとのHDIの数値に修正を加えた指標

◎ジェンダー不平等指数

女性の健康の水準と教育の水準、政治や職場への参加の度合いを考慮に入れて、国の中での男女の格差を把握し、同時に国家間の比較を行うことを目的とする指標

◎多次元貧困指数

健康、教育、生活水準など複数の側面における世帯レベルの貧困状況を把握するための指標

です。また、これまでの米ドル建てPPPに換算された1人当たりのGDPにかわって、米ドル建てPPPに換算された1人当たりの国民総所得 (GNI) を用いて、生活水準については算出されています。さらに、2010年の報告書のテーマは、まさに「国家の真の豊かさ」。HDIは、人間の「幸福」は金銭だけでは決まらず、みずから選択し追求するに値すると考える人生計画を実現できる可能性がどの程度あるかによって決まってくると考えています。

● 国民総幸福度 (GNH: Gross National Happiness)

人間開発報告書2010

ブータン王国のジグメ・シンゲ・ワンチュク国王が1976年、国際会議で提唱した国家建設の開発理念。「国にとって大切なのはGNP (Gross National Product:国民総生産) よりGNH (Gross National Happiness:国民総幸福度) なんです。ペットボトルの水がよく売れる国はGNPは上がるが、自然破壊がなく、川の水が飲める国はGNHが高い。塾で疲れた子どもたちより、自然の中で遊べる子ども達の方が幸福度が高い。」ブータンは、独自の文化と徹底した環境保護政策から観光客が増加しており、1人当たりの国民所得は870ドルと、インドより大きくなっています。最近では、物質的な豊かさと精神的な豊かさを共に示す基準として、「基本的生活度合い」「文化の多様性」「感情の豊かさ」「健康」「教育」「時間の使い方」「自然環境」「コミュニティの活力」「良い統治」などGNH指標作りが、日本などの学者たちの間で進められています。P.33の表は2006年イギリスのレスター大学の社会心理学者エドリアン・ホホワイト氏が、全世界約8万人の人々に聞き取り調査を行った各種国際機関 (ユネスコ、CIA、WHOなど) の発表済みレポート (100種以上) のデータを分析して行った「GNHランキング」です (イラクなどの紛争地域を除外した世界178カ国を対象)。なお、この調査で日本は90位でした。

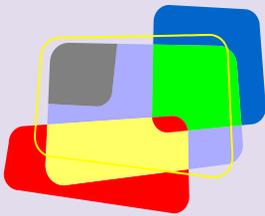
国内総生産 (GDP) [2010年]	
1	A
2	中国
3	日本
4	B
5	C
6	ロシア
7	ブラジル
8	英国
9	フランス
10	イタリア
11	メキシコ
12	韓国
13	スペイン
14	カナダ
15	インドネシア
16	トルコ
17	オーストラリア
18	イラン
19	台湾
20	ポーランド
21	オランダ
22	アルゼンチン
23	サウジアラビア
24	タイ
25	南アフリカ
26	エジプト
27	パキスタン
28	コロンビア
29	マレーシア
30	ベルギー

人間開発指標 (HDI) [2010年]	
1	D
2	E
3	F
4	アメリカ合衆国
5	アイルランド
6	リヒテンシュタイン
7	オランダ
8	カナダ
9	スウェーデン
10	ドイツ
11	日本
12	韓国
13	スイス
14	フランス
15	イスラエル
16	フィンランド
17	アイスランド
18	ベルギー
19	デンマーク
20	スペイン
21	香港 (中国)
22	ギリシャ
23	イタリア
24	ルクセンブルク
25	オーストリア
26	英国
27	シンガポール
28	チェコ共和国
29	スロベニア
30	アンドラ

国民総幸福度 (GNH) [2006年]	
1	G
2	H
3	I
4	アイスランド
5	バハマ
6	フィンランド
7	スウェーデン
8	ブータン
9	ブルネイ
10	カナダ
11	アイルランド
12	ルクセンブルク
13	コスタリカ
14	マルタ
15	オランダ
16	アンティガ・バーブーダ
17	マレーシア
18	ニュージーランド
19	ノルウェー
20	セーシェル



參考資料



目で見る英国



この国旗は「ユニオン・ジャック」の愛称で親しまれています。1277年にイングランドの旗(白地に赤十字)、スコットランドの旗(青地に白い斜めの十字)、アイルランドの焔(白地に赤い斜めの十字)を組み合わせました。この旗には上下があるので、国旗を揚げる時には注意しなくてはなりません。

●人口●

(2008)



61,231,000人



127,293,000人



●面積●

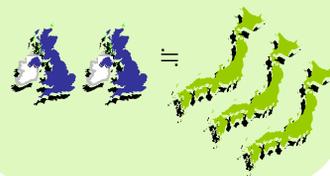


243,000km²

(日本の約3分の2)



377,944km²



●通貨●



スターリング・ポンド

●気候帯●



西岸海洋性気候

●言語●



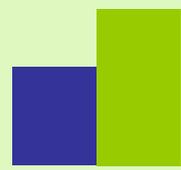
英語(ウェールズ語
ゲール語 等使用
地域あり)

●宗教●

英国国教 等

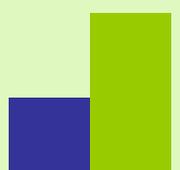


●平均気温●



ロンドン 10℃
名古屋 16.4℃

●年間降水量●



ロンドン 750.7mm
名古屋 1,580mm

●日本との時差●

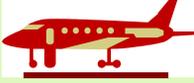
-9時間



◆国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken) ◆面積・首都・通貨・言語・宗教:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」◆人口:世界子供白書2010(ユニセフ) ◆日本の面積:総務省統計局「日本の統計2010」 ◆気候帯・平均気温・年間降水量:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」 ◆名古屋の平均気温・年間降水量:愛知県ウェブサイト「一ポケット情報あいちー土地・気象、人口、農林漁業、事業所」 ◆日本との時差:『世界の国一覽表 2007年版』(財団法人世界の動き社)

●主要産業●

航空機 電気機器 エレクトロニクス 化学
金属 石油 ガス 金融



●日本との貿易主要品目●



医薬品 白金 乗用車 等



乗用車 金 自動車部品 等

●一人あたりのGNI●
(2008年)



45,390米ドル



38,210米ドル



●在留邦人数●

63,017人(2008年10月)



●在日英国人数●

17,011人(2008年12月)

●人口増加率●
(2000～2008年)



0.5%



0.1%

●5歳未満児の死亡者数●
(出生1000人あたり)
(2008年)



6人



4人



●都市人口の比率●
(2008年)



90%



66%

●初等教育
純就学/出席率●
(2003～2008年)



98%



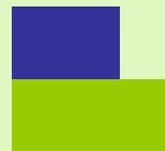
●出生時の平均余命●
(2008年)



79年

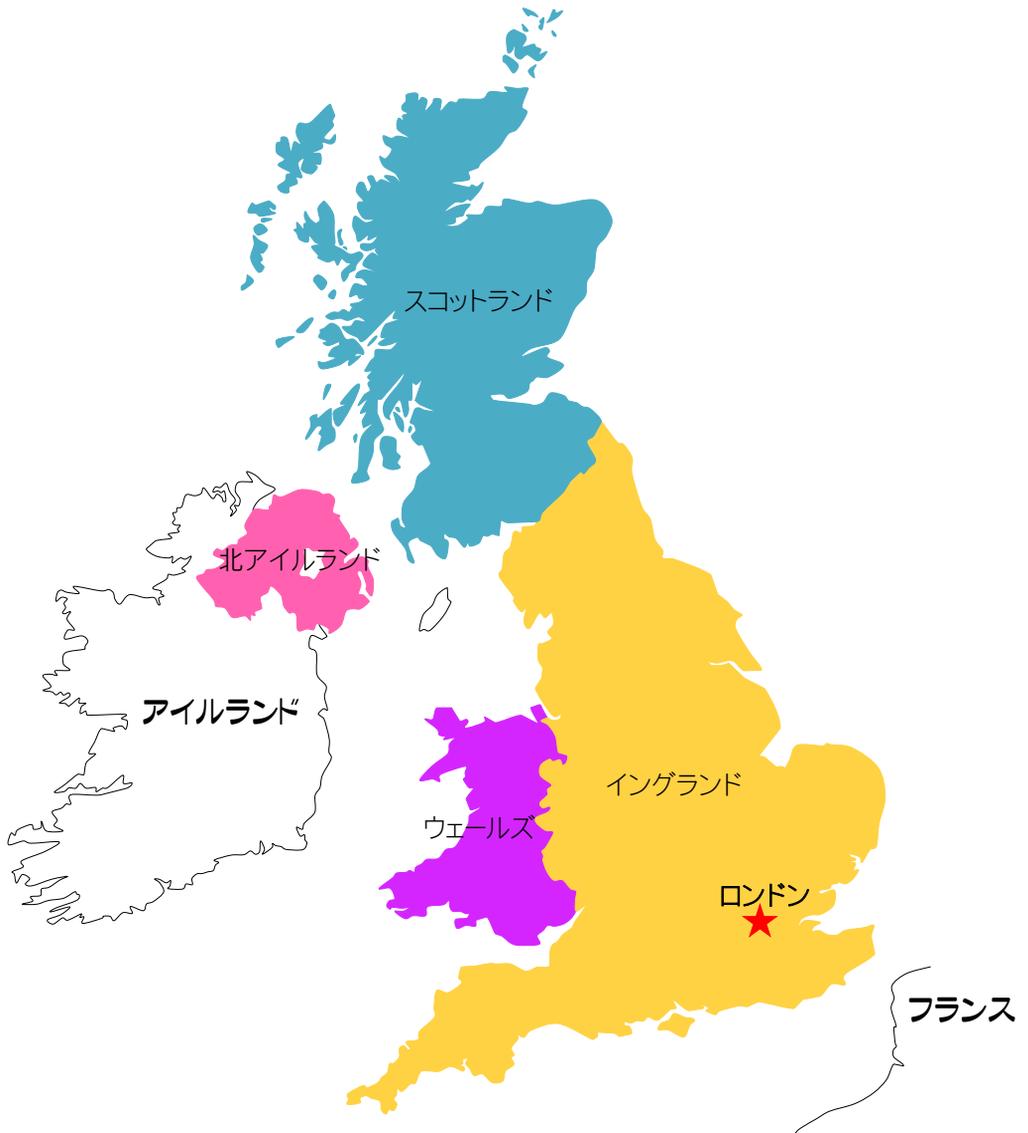


83年



◆主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・在日英国人数：外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」◆一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・初等教育純就学/出席率・人口増加率：世界子供白書2010(ユニセフ)

英国地図



ヨーロッパ





ヨーロッパ





参考文献・データ等の出典

- 外務省 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- 外務省「探検しよう!みんなの地球」
<http://mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyuu/index.html>
- 総務省統計局「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
- 財団法人日本ユニセフ協会 <http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
- 駐日英国大使館 <http://ukinjapan.fco.gov.uk>
- The official website of the British Monarchy <http://www.royal.gov.uk>
- Flickr <http://www.flickr.com/photos/britishmonarchy/sets/>
- 英国政府観光局 <http://www.visitbritain.com/ja/JP/>
- 英国の旅 http://www.eikokutabi.com/ukwhatson/uk_guide
- 英国生活 おもしろ発見! <http://uklife.ookinayume.com/>
- スコットランドNAVI <http://sin-cos-group.com/sincos/scotland/>
- 「風車の講義」へようこそ(千葉大学) <http://www.eueka.tu.chiba-u.ac.jp/windmill/>
- 『BRITAIN FOR LEARNERS OF ENGLISH』 James O' Driscoll (OXFORD UNIVERSITY PRESS)
- 『BRITAIN FOR LEARNERS OF ENGLISH WORKBOOK』 James O' Driscoll (OXFORD UNIVERSITY PRESS)
- 『英国を知るための100項目 100 Questions Answered』 英国外務省 2007
- 『英国ってどんな国? Britain in Brief』 英国外務省 2004
- 『世界各国のくらし-11 英国のくらし』 福生武(ポプラ社、1996)
- 『目で見る世界の国々45 イングランド』メアリー・M・ロジャース 足立万寿子訳 (国土社、1997)
- 『きみにもできる国際交流⑧ 英国』今村正樹(偕成社、2000)
- 『シリーズ世界の食生活⑧ 英国』アンナ・スプーロール 横山美智子訳(リブリオ出版 1991)
- 『お茶しませんか?英国で』小野まり(青春出版社 2001)
- 『ハリー・ポッターの生まれた国』黒岩徹(日本放送出版協会 2004)
- 『英国らしさを知る事典』小池滋(東京堂出版 2003)
- 『もっと知りたい英国』藤森靖充(ぎょうせい 2007)
- 『オックスフォードのスローライフ』中谷安男(新生出版 2006)

ご協力いただいた方たち【敬称略】

- ジェマ・マックゴールドリック
- 山田 夢
- 伊藤友希
- 伊藤実彩



2010年度教材作成チーム

安城市 犬山市 江南市
新城市 あま市 長久手町

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター

財団法人 愛知県国際交流協会



世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 英国 

2017年3月

**発行
編集**

財団法人 愛知県国際交流協会

〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号

あいち国際プラザ

TEL:052-961-8746 FAX:052-961-8045

E-mail:koryu@aia.pref.aichi.jp

URL:http://www2.aia.pref.aichi.jp

印刷

駒田印刷株式会社



